



大図研近畿 3 支部新春合同例会のご案内

テ ー マ：『飛び出せ！ ダイトケン学生会員 ～学生の発表！ 学生との交流！～』

概 要：新春にふさわしいダイトケンの期待の学生会員の話をお聴き、学生との交流
深める企画です。学生の元気とパワーを皆さん持ち帰りましょう！

開催日時：2015 年 1 月 10 日（土）13:30-17:00（13:00 開場）

場 所：キャンパスプラザ京都 第 1 会議室

参加費：無料（大学図書館問題研究会の会員でない方も無料です）

共 催：大学図書館問題研究会大阪支部・兵庫支部

申込方法：大図研近畿 3 支部合同例会申込フォーム
(<http://www.daitoken.com/kyoto/event/20150110.html>)
からお申し込みください。

申込締切：2015 年 1 月 6 日（火）
※申込無しの当日参加も可能ですが、資料の準備や懇親会会場確保のため、
なるべく締切までのお申し込みをお願いします。
(会場の収容定員を上回る参加希望があった場合、入場をお断りすることもあり
ます)

そ の 他：※終了後、懇親会を予定しています（実費負担）

[目 次]

大図研近畿 3 支部新春合同例会のご案内	…	1
連続企画：私の図書館紹介します 6 京都橘大学図書館	中村 敬仁	… 3
新入会員挨拶	山形 知実	… 5
新入会員挨拶	津田 直暉	… 5
会費納入のお願い	…	6

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com（大学図書館問題研究会京都支部）

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

大図研近畿 3 支部新春合同例会のご案内

京都支部委員会

1 ページ目でもお知らせしました通り、今年度の大図研近畿 3 支部新春合同例会は京都支部が担当いたします。その内容とプログラムは以下の通りです。日時・場所・申し込み方法などは 1 ページ目をご覧ください。

多数のご参加をお待ちしております。

13:00 開場・受付開始

13:30～13:40 開会挨拶

<第 1 部>

13:40～14:20 恒例！？「大図研 新人の研究発表：私こんな研究をしています！」

2014 年の大図研全国大会@山形に参加してそのまま大図研のメンバーになった
立命館大学文学部 3 回生 齊藤 涼さんの研究発表です。

テーマ：国民精神総動員文庫について～1 年間の調査報告～

14:20～14:30 質疑

14:30～14:40 休憩

<第 2 部>

今年の図書館総合展で京都の学生（立命館大学、同志社大学、京都女子大学）が
ポスターセッションに出展しました。学生の取組みを聴いてあげてください。

14:40～15:10 学生によるポスターセッション（立命館大学、京都女子大学）

※参加者からどんどん質問しよう！

15:10～15:50 学生から皆さんに質問します！

15:50～16:00 休憩

<第 3 部>

あなたは体験しましたか？図書館で働く学生によるバーチャル図書館案内。

～日ごろ、こんな風に図書館を案内しています。

16:00～16:40 学生による図書館案内のバーチャル体験

16:40～16:50 閉会の挨拶

16:50～17:00 事務連絡・撤収

18:00～ 懇親会

連続企画:わたしの図書館紹介します!

紹介番号6 京都橘大学図書館

中村 敬仁

1. はじめに

本学園のルーツは、1902年(明治35年)中森孟夫により京都女子手藝学校が創設されたことに始まります。校地は御所の西側にあたる京都市内中立売にありました。現在の学園名である京都橘学園の「橘」の名は、「左近の桜、右近の橘」の右近の方角に立地したことから由来しています。

大学は、1967年(昭和42年)に橘女子大学として開学しました。その当時は、文学部(3学科)のみの大学でしたが、2005年には男女共学化を行い、大学の名称も京都橘大学に改称し、現在は下記の通り5学部10学科1通信教育課程・3研究科の大学となっています。2014年5月1日現在、学部生3,762人、通信教育課程生379人、大学院生37人、専任教員156人、専任職員69人規模の大学となっています。大学の学部学科数でいうと総合大学、学生規模でいうと中小規模という大学といったところでしょうか。

大図研の会員の皆様からは、NACSIS-CAT/ILLの参加組織の略称が「橘大」となっていますので、こちらの略称の方が馴染み深いかと思えます。この略称、私にとって少し不思議なのは、京都女子大学さんが京女大、同志社女子大学さんが同女大、京都光華女子大学さんが光華女と略しているのに本学は女子大当時から「女」が入っていませんでした。参加当時から男女共学を見越していたのでしょうか???

文学部	日本語日本文学科(書道コース含)、歴史学科、歴史遺産学科
人間発達学部	児童教育学科、英語コミュニケーション学科
現代ビジネス学部	現代マネジメント学科(救急救命学系含) 都市環境デザイン学科
看護学部	看護学科
健康科学部	理学療法学科、心理学科(通信教育課程含)
大学院	文学研究科言語文化専攻(修士課程) 歴史学・文化財学専攻(博士前期課程・後期課程) 文化政策学研究科(博士前期課程・後期課程) 看護学研究科(博士前期課程・後期課程)

2. 図書館について

現在の図書館は、1986年に開館しました。地上4階(積層書架5階)、専有延床面積3,161.94平方メートル、図書収容能力28万3千冊の図書館となっています。2013年度末、蔵書数約23万8千冊、年間受入雑誌種数約1,800種で、一部書庫に入れていますが、ほぼ全面開架としています。閲覧座席数387、入館者数が約12万3千人、貸出冊数が約3万冊、学生一人当たりの貸出冊数が約8冊となっています。

なお、情報メディアセンター機能も図書館情報課が担当しており、全学教職員のコンピュータ及びネットワークの管理や情報教室設備の対応がメインですが、授業サポートなども教務担当部署と連携しながら行っています。因みに管理しているコンピュータは約1,000台強程度となっています。

これらを受け持つ職員の体制は、図書館情報課の1課が担当しており、課長1人、図書館系は専任1人、臨時職員3人、業務委託4人、情報メディア系は専任1人、業務委託6.5人で行っています。

3. 図書館における取り組みについて

2012年の6月に実質図書館に異動後、図書館において取り組んできたことと現在取り組んでいることについて少し紹介させていただきます。支部報のNo.298でも新入会員挨拶でふれさせていただいているところですが、主に取り組んできたことは図書館における電子資料の提供を行うというものです。

まず1点目として、紀要のオープン・アクセス化があげられます。タイミング的にも学位規則の改正があり、博士論文を公開する仕組みも必要であったこともあり、その流れに乗り、JAIRO Cloudを活用し、本学の研究紀要をまずは直近に発行したものだけが公開することができました。

2点目としては、プリント版で購入していた外国雑誌の大半を電子ジャーナル版での購入化を行いました。これは書架の狭隘による問題および、総合大学となる中で、いわゆる自然科学系の教員からの要望が大きくなる中で取り組みでした。今後はパッケージジとの比較などより利用者に利便性の高いサービスを限られた予算の中で効率的に提供できる取り組みへ移行していく必要があると考えています。

3点目としては電子ジャーナル化を行うとほぼ同時にディスカバリーサービス「Summon」を2014年度当初に導入したことです。学術情報をたぐり寄せるツールという意味で「TAGURU」と名付けました。電子ジャーナルへの移行を行うのであればリンクリゾルバの機能が必須と考えたことと、電子情報の広がりからすると、あるかもしれない多くの学術情報への素早いアクセスの確保についても必要性を感じていたからです。学内のそれほど広報をしているわけではありませんが、図書館のHP上に検索窓をつけたことで、利用が広まってきています。今後は、その活用方法とOPAC及び各々のDBサービスとを上手く組み合わせる利用者教育の充実を行っていく必要があると考えています。

現在取り組み最中なのは、ラーニングコモンズに関することと、資料の遡及入力作業です。いずれも多くは大学ですでに始められているサービスであり、すでに終えている業務と思われるが、本学も遅ればせながら新しいサービス領域を広げつつ、図書館の基盤となるデータをしっかりとしたものにしていきたいと考えています。

4. さいごに

最後に、もう1点個人的に取り組んできたことがあります。それは、多くの方とお会いし、お話をさせていただくことです。大図研の繋がりから本当に多くの図書館関係者の方とお会いし、ご教授賜りました。まだまだ教えを乞うことばかりで、お恥ずかしい限りですが、今後ともよろしく願いいたします。

なかむら たかひと（京都橘大学図書館）

写真



- ① 京都橘大学図書館外観
- ② 2015年度展示 健康科学部心理学科企画展示 テーマ：「テディベアと生きる力」より

京都支部：新入会員挨拶

新しく京都支部に加入して下さった会員の皆様にご挨拶をいただきました！ 今後、順次掲載をさせていただきますので、どうぞお楽しみに！

● 山形 知実 さん

はじめまして。大図研京都支部の山形知実と申します。このたび機会を頂きまして、新入会員のご挨拶をさせていただきます。大図研とのご縁は一年前、大阪・桃山学院大学で司書講習を受講中、ワンデイセミナーに参加させて頂いたことが始まりでした。当時就職先も未定だった私をあたたかく迎えて下さった事に感激し、もっと勉強させて頂きたいと入会を決めた次第です。その後幸いにも希望が叶い、2015年4月より北海道で大学図書館員として働き始めます。

私は大学時代を北海道で過ごし、農学部で森林科学を学んでいました。専門は生態系管理学で、森が持つ様々な機能（木材生産や水土の保持、生き物の生息場など）の発揮と人の暮らしを両立するにはどうすればいいか、といったことを主題にしていました。卒業研究を通じて、研究にはお金の処理や各種申請など事務的業務が不可欠なことに初めて気づき、研究成果のアウトリーチにも関心を持っていましたが、まだこの頃は、研究を支える仕事ができたらと漠然と考えているだけでした。そんなとき、10年後の図書館界をアツク語る大学図書館員の方に出会ったこと、そして卒業後に論文投稿に取り組んだ際、電子ジャーナルをはじめ学術情報へのアクセスを著しく制限される苦しみ、学術情報を活用できる特権が如何にありがたかったかを体感したことが、種々ある研究関連産業の中でも大学図書館員を目指そうと決意する大きな転機になりました。

こういった経緯で大学図書館員を志しましたので、目下の関心は機関リポジトリや電子ジャーナル、OAを取り巻く動向、大学ならではの図書館サービスを（特に非来館型の）利用者にいかに伝えるか、使いこなしてもらうかといった事です。とはいえ、大学業界、図書館界について知れば知るほど、一利用者だった頃には想像もしていなかった業務の多彩さ奥深さに驚き、かつ魅せられ続けています。

読書が趣味の一つでもあり、図書館には馴染みもありましたが、北の大自然をフィールドにネズミ捕り虫捕りトラップ掛け等々に明け暮れていた学生時代、さらにはバックパックを背負って国から国へ旅していた日々を思えば、さても遠くへ来たものよという気もいたします。これからは、研究活動の一助になりたいという自分の軸を忘れず、他方視野は広く持つよう努めつつ、思い切って一步踏み出す度胸とフットワークを大事にしていけたらと思っています。社会人としても図書館員としてもたまごの新人ですが、どうか皆さま、今後ともよろしくお願い申し上げます。

やまがた ともみ

● 津田 直暉 さん

はじめまして、同志社大学経済学部経済学科二回生の津田と申します。兵庫県出身で現在は京都に下宿しています。図書館司書課程を大学で昨年度から取得し始めて約二年が経過し、現在も継続中です。

司書課程を取得しようと思ったのは、中学生の時に職業体験として図書館に行ったこ

とがきっかけです。その当時は図書館員の仕事は本の整理ばかりだと思っていましたが、レファレンスサービスや絵本の読み聞かせといった人と接する仕事も多いということに気づきました。自分はカウンターでの業務は本の貸し出ししか行っていませんが、隣のカウンターでは図書館員がレファレンスサービスを行っていました。利用者に対してすばやく正確にレファレンスを行う図書館員の姿は今でも目に焼き付いています。この時から図書館の中でも特にレファレンスに対して興味を持ち始めました。今でも図書館司書課程の中でも情報検索に力を入れて勉強しています。

秋から授業とサークルの方が忙しく、一度も大学図書館問題研究会に顔を出せていません。情報検索関連のイベントなどがあればぜひ参加させていただきたいです。司書課程を取得しはじめたばかりで知識が乏しいですが、大学図書館問題研究会で普段の授業で学べないことを学びたいです。よろしくお願いします。

つだ なおき (同志社大学 経済学部経済学科)

◇ 会費納入のお願い ◇

会員みなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

大図研会費および京都支部会費の納入をお願いしているところですが、納入率は依然思わしくない状態にあります。既に2014年度(大図研会計年度2014.07-2015.06)に入っておりますので、2014年度の会費の納入をお願い致します。また、2013年度以前の会費をお納めいただいていない会員みなさま、一刻も早い会費の納入にご協力いただきますようお願い致します。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都支部会費：¥2,000)です。

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員におことづけください。

郵便振替振替口座番号 01090-4-5904 大学図書館問題研究会京都支部

また、ご不明な点は大学図書館問題研究会京都支部(kyoto@daitoken.com)まで。